

■除草剤：農業用

# ゼータワン<sup>®</sup> 1キログラム粒剤

登録番号：22834  
 毒性：－  
 消防法：－  
 有効年限：7年

成分 プロピリスルフロン……0.9%  
 物理的・化学的性状 類白色細粒

包装：1kg×12

## ◆特長

- ノビエを始め一年生広葉、カヤツリグサ科など幅広い雑草に効果を示す1成分の除草剤です。
- SU抵抗性雑草に対しても効果を示します。

## ◆適用と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農業の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植時	1kg/10a	2回以内	田植同時散布機で施用	2回以内
	エゾノサヤヌカグサ シズイ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			湛水散布	
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで				

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

## ◆注意事項

- (1) 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレグが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。  
ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは3葉期まで、ウリカフ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生前まで、セリは再生前から再生始期まで、オモダカは矢尻葉2葉期まで、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは草丈20cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。
- (2) 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化作業及び植付けはていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- (3) 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）で、まきむらが生じないように均一に散布すること。また、極端な浅水や深水での使用はさけること。
- (4) 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。
- (5) 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
  - ① 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深が2cm/日以上）。
  - ② 軟弱な苗を移植した水田。
  - ③ 極端な浅植えの水田。
- (6) 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (7) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえること。
- (8) 本剤は、移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用すること。
- (9) 前処理剤との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布すること。
- (10) オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な前処理剤又は後処理剤と組み合わせて使用すること。
- (11) 散布田の田面水を他の作物に灌水しないこと。
- (12) 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意すること。
- (13) いぐさ栽培予定水田では使用しないこと。
- (14) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## ◆安全使用上の注意

通常の使用方法ではその該当がない。

## ◆魚毒性

- (1) 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。